

信越金融商品セルフトレーニングの概要[社員周知用資料]

「お客さま本位の営業活動」の実践のため、販売側が販売したい商品をご提案するのではなく、お客さまのライフプラン及びニーズを的確に把握し、郵便局で取扱う全ての金融商品の中から最適な商品をご提案できる商品知識等を身に付けることを目的に、自己研鑽に取り組みます。※ ゆうちょ銀行併設局、ゆうちょ又はかんぽ専担社員の区別なく、全ての社員が同じ金融商品の基礎知識向上を目指すもの。

①理解度チェック

- 事前に、自分の弱み(履修が必要な研修項目)を知るために「理解度チェックシート」による理解度チェックを実施(自己診断)。
※ 研修は、理解度チェック(自己診断)により理解が不十分な項目のみを履修するセレクト方式。

[対象者]

- 金融営業に従事する全社員(期間雇用社員は希望者)。

[研修項目]

- 共通2項目、かんぽ7項目、がん保険1項目、年金2項目、投資信託(紹介局7項目、取扱局8項目)、変額年金1項目の計20(21)項目。

Step1

Step2

②研修計画の策定

- 理解度チェックの結果、「×」となった項目を履修する研修項目として選択。

[研修カリキュラム]

共通2コマ、かんぽ7コマ、がん保険1コマ、年金2コマ、投資信託(紹介局7コマ、取扱局8コマ)、変額年金1コマの計20(21)コマ。標準研修時間1コマ30分として最大10.5時間を想定(社員の理解度によって研修項目数が異なります。)

- 社員は、自身が履修する研修項目に基づき、2月末までに研修を修了できるように研修計画を策定。
※ 可能な範囲で12月末修了を目指します。
 - 研修計画は、支社が作成した研修計画策定シートを活用。

④履修確認テスト

- 研修項目ごとの研修終了後、履修確認テストを実施。
※ 履修確認テストは、支社から管理者あてに別途通知。
- 履修確認テストの設問は10問(予定)で、満点で合格。
合格 → 次の研修項目に進む
不合格 → 必要に応じて復習(研修)した上、翌日以降に

再度履修確認テストを実施

- 各局の研修修了状況については、報告フォームにより、支社において進捗状況を把握。

[信越支社長名による修了証の交付]

全ての研修項目を修了した社員に対して、「信越支社長名による修了証」を交付します。

Step4

Step3

③自局研修(自己学習)

- 自身が策定した研修計画に基づき、原則、手隙時間を利用し、自局研修(自己学習)を実施。
➢ 自局研修(自己学習)は、2月末の修了を期限としますが、研修項目数に応じて、可能な範囲で12月末修了を目指します。

[研修教材]

- 研修項目ごとに既存又は支社が用意した研修教材を使用。
- そのほか、自己学習を支援するため、営業インストラクター等が研修項目ごとにポイントを解説した音声データをポータルサイトに掲載(11月末までに順次提供予定)。